

—2020年度—

明日を生きる

子どもたちのために



—宮市小中学校PTA連絡協議会  
—宮市教職員組合

## はじめに

この度、保護者の皆様と先生方のご協力により、2020年度「明日を生きる子どもたちのために」を発刊できる運びとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大のなか、現在に至るまでさまざまな行事の自粛、経済活動の制限が行われ、混沌とした社会になってしまったように思われます。子どもたちにおいても長期にわたる休校を余儀なくされ、学習や活動の場が大きく制限されるというかつてない環境におかれ、生活そのものの変化が求められているところであります。われわれ保護者や先生方の苦労もまた語るに堪えがたい状況だったかもしれません。また、今夏も九州をはじめ、いたる所で大雨などの災害がおこっています。これからの子どもたちはいかなる困難な環境でも生きることの大切さを学んでいかなければならないと思います。

このような状況だからこそ、未来を担う子どもたちが安心して成長できる環境をわれわれ大人が作っていかなければならないと考えます。PTA連絡協議会は、学校・家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健やかな成長を育む体制をさらに発展させていきたいと考えています。

今年は「健全教育の会」「一宮母と女性教師の会・文化講演会」などの行事も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になってしまったこと、大変残念に思います。しかしながら、それぞれの学校とPTAが日ごろから連携し、日々の対話の中で意見交換して見識を深めるいい機会だと捉えていただければ幸いです。

2020年度「明日を生きる子どもたちのために」のテーマは『安心』であります。正直申しますと、今、この状況で『安心』なるものを見つけ出すのも難しい社会になっていると思います。コロナの件もそうであるように、子どもたちのなかで普及するSNSでの「匿名のネットいじめ」、災害の大規模化など、子どもたちの安心が脅かされる事態が日々発生しております。そのような中で、われわれ大人が、「安心な暮らしや社会の実現に向けてできること」を見つけ出し、子どもたちにその方向性を示していかなければならないと思います。

最後に、学校・家庭・地域の皆様の日頃の活動に厚く御礼申し上げますとともに、PTA活動にさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

一宮市小中学校PTA連絡協議会  
会長 市岡重人

# 目 次

## 明日を生きる子どもたちのために 『安心・安らぎ』

### I 学校生活の中で

- ① 学校生活の中で安心・安らぎ ..... 1～2
- ② 授業での安心・安らぎ ..... 3
- ③ 悩みや不安があるとき ..... 4～6

### II 家庭生活の中で

- ① 家庭生活での安らぎ ..... 7
- ② 家庭生活での不安 ..... 8～10

### III 輝く明日に向かって

- ① 将来の夢について ..... 11～12
- ② 将来に向かって ..... 13～14

<アンケート対象者>

☆小学生 ..... 小学5年生                      ☆中学生 ..... 中学2年生

☆保護者 ..... 小5・中2の保護者              ☆教 師 ..... 小学校・中学校の教師

#### アンケート有効回答者数

小学5年生	1,232名	小学保護者	1,157名	(42校)
中学2年生	618名	中学保護者	546名	(19校)
小学校教師	709名	中学校教師	400名	

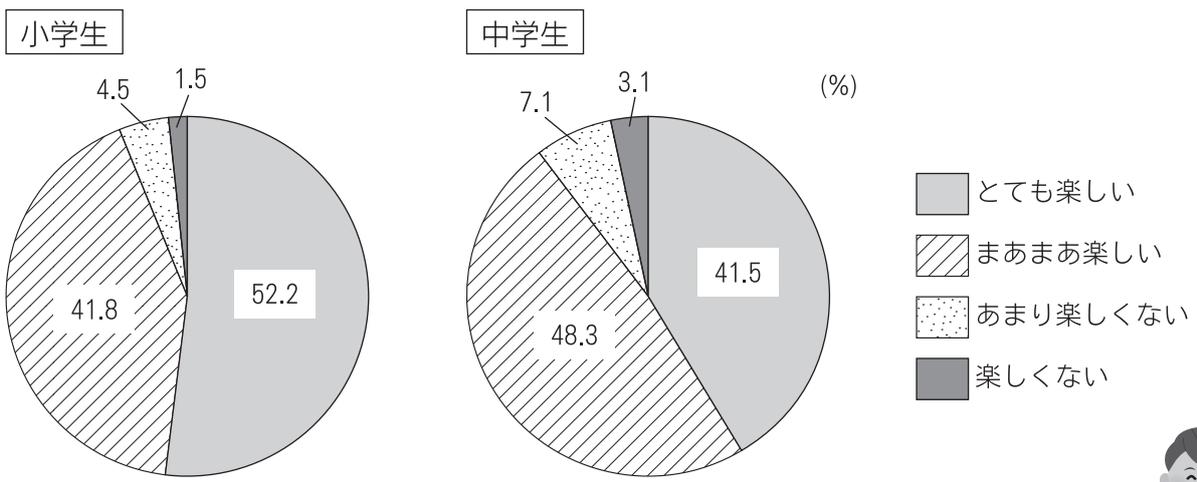


子どもたちは安心・安らぎをどんなときに感じているのだろうか？

# I 学校生活の中で

## ① 学校生活の中での安心・安らぎ

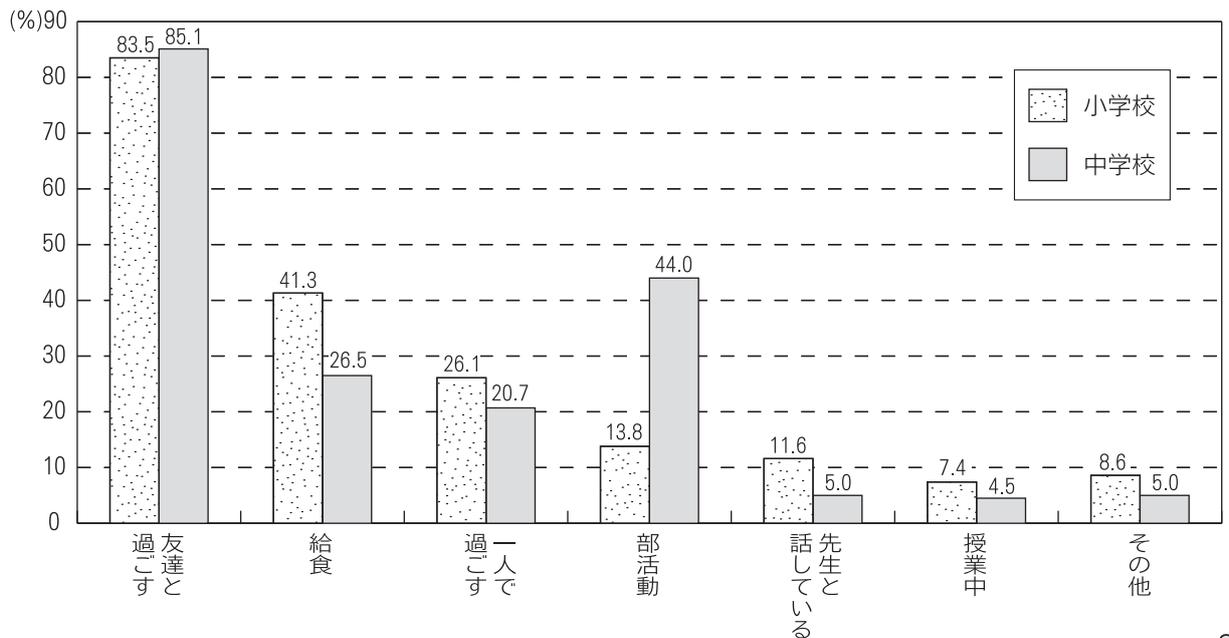
◆ 学校生活は楽しいですか。(小学生・中学生)



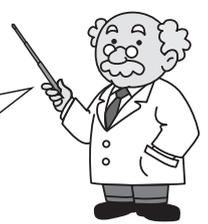
小学生は9割以上、中学生では約9割の子どもが学校生活を楽しいと感じています。



◆ 学校生活の中で安心・安らぎを感じる時はどんなときですか。(小学生・中学生 複数回答)

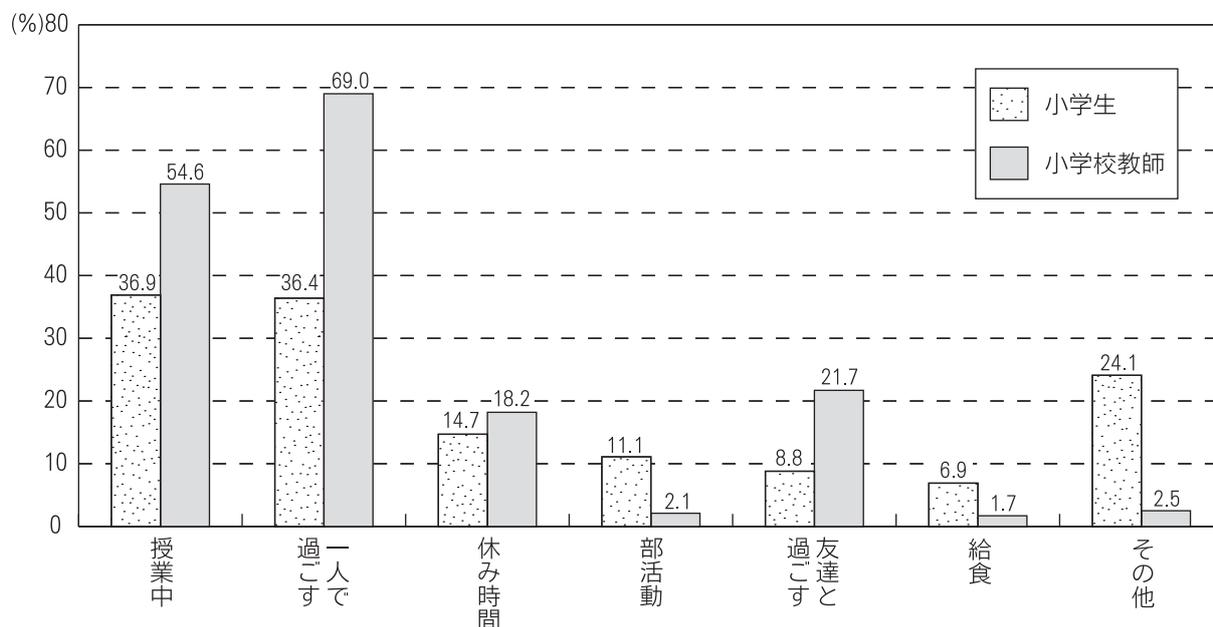


「友達と過ごしているとき」に安心・安らぎを感じている子が多いようです。中学生になると、「部活動」で安心・安らぎを感じる子も多いようです。子どもにとって友達との関わりが安心・安らぎに大きく関係すると考えられます。

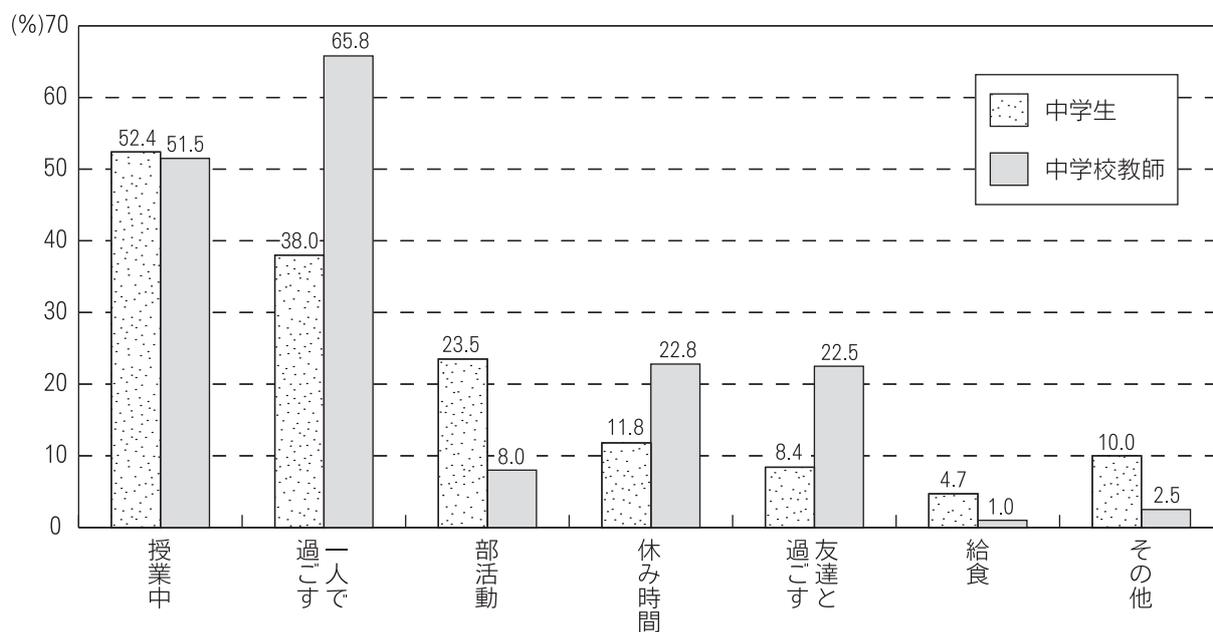


- ◆ 学校生活の中で不安を感じる時はどんなときですか。 (小学生・中学生 複数回答)
- ◆ 児童・生徒が、学校生活の中で不安を感じる時はどんなときだと思いますか。 (小学校教師・中学校教師 複数回答)

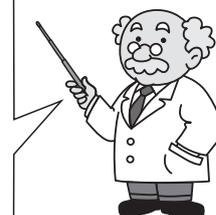
小学生



中学生

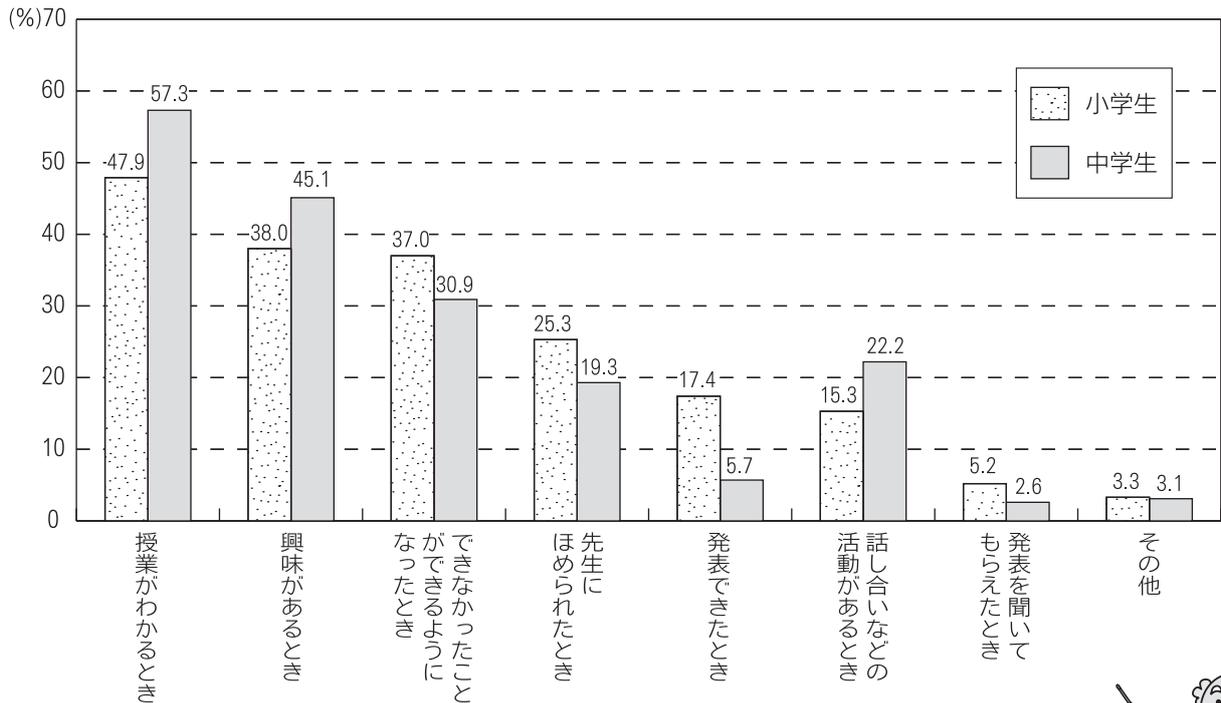


子どもたちが不安を感じる時は、小学生・中学生ともに「授業中」と「一人で過ごす」ときが多いようです。教師が考えるほどには「一人で過ごす」ことに不安を感じる子どもは多くないものの、他の項目に比べ高い割合を示しています。これらのことから、子どもたちは学習・人間関係に不安を感じる事が改めてわかります。学習でも生活でも、子どもたちの心の状態を見る目が教師に求められますね。

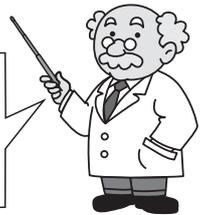


## ② 授業での安心・安らぎ

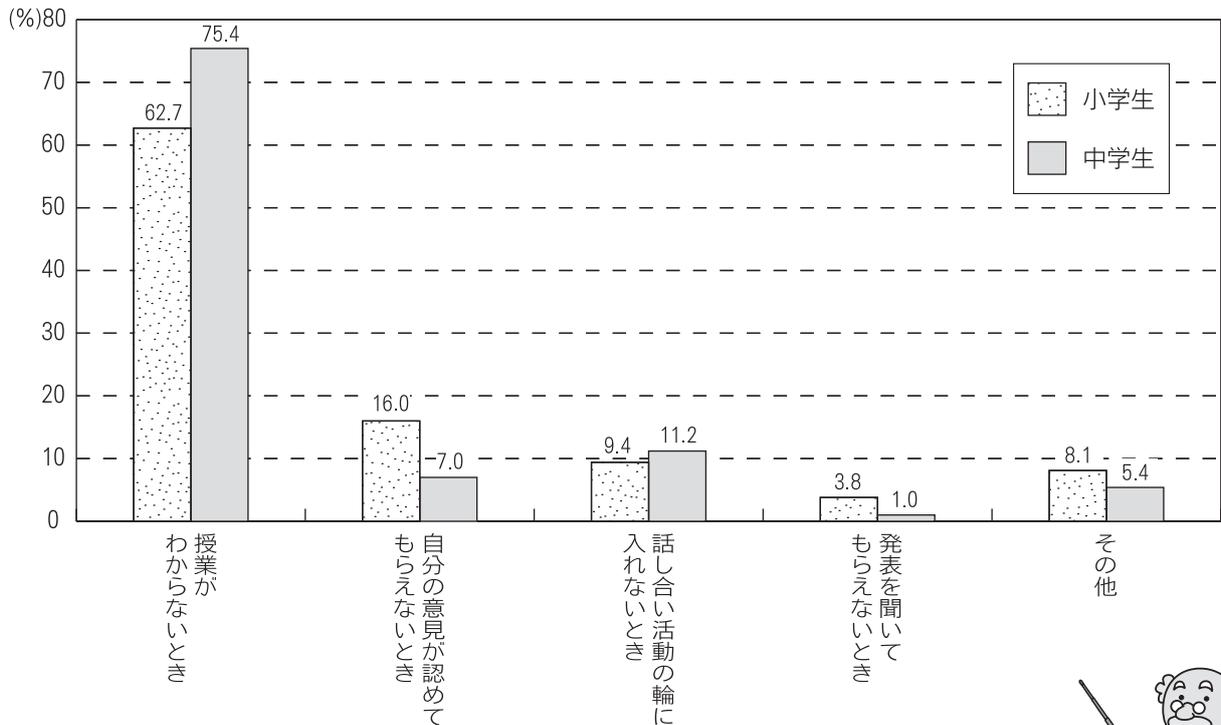
◆ 授業中に安心・安らぎを感じる時はどんなときですか。(小学生・中学生 複数回答)



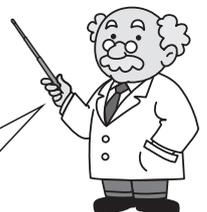
子どもたちは、小学生・中学生ともに「授業がわかるとき」に安らぎを感じるようです。わかるようになりたい、できるようになりたいという気持ちの表れだと考えられます。そこで、子どもたちに「できるようになった」という達成感をもたせられる授業が求められていると言えます。また、授業に興味があるときも安心・安らぎを感じるので、教師は、子どもの興味・関心を高める授業を展開する必要があります。



◆ 授業中、不安に感じるのはどんなときですか。(小学生・中学生)

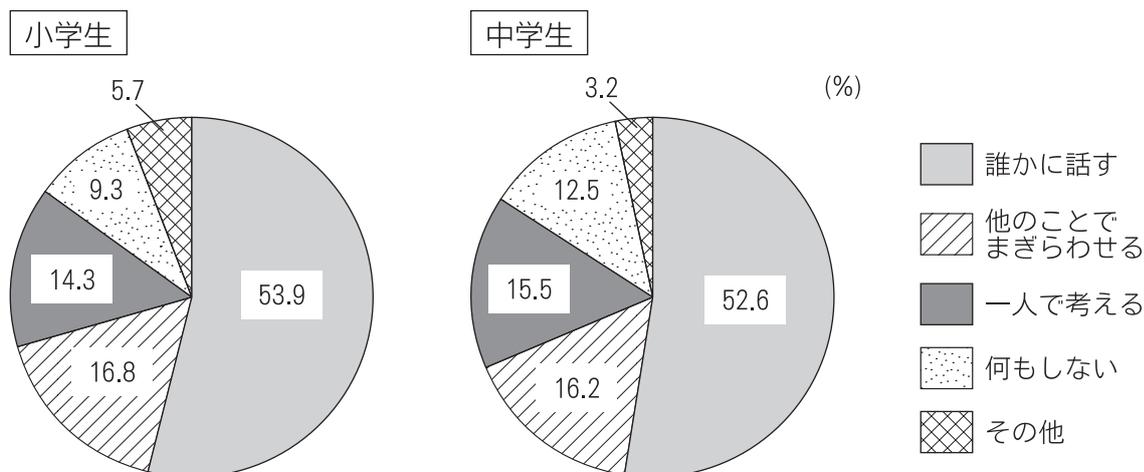


「授業がわからないとき」に多くの子どもたちが不安を感じるので、よくわかる授業を行う必要があります。また、「自分の意見を認めてもらえないとき」や「話し合い活動の輪に入れないとき」も不安を感じるので、子どもの意見を認めていくことも大切だと言えます。



### ③ 悩みや不安があるとき

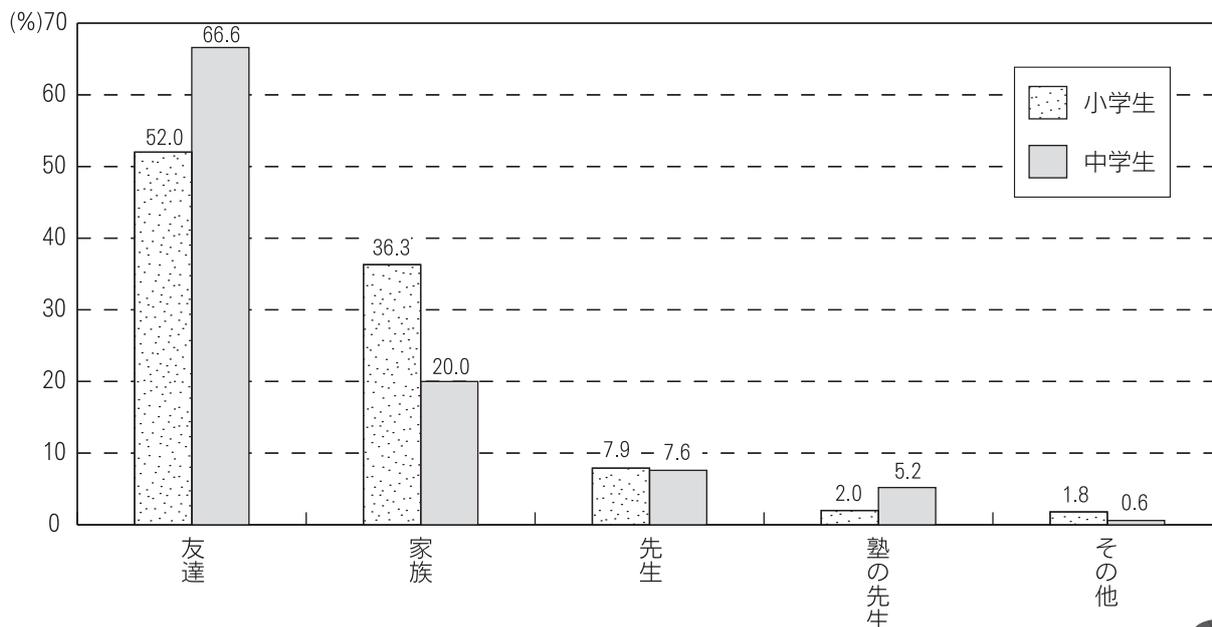
◆ 学校生活での悩みや不安を解消したいとき、どのような行動をとりますか。(小学生・中学生)



小学生・中学生ともに悩みや不安があっても、「誰かに話す」のは、約半数となっています。



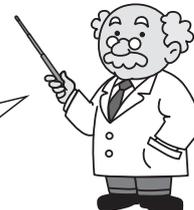
◆ ア（誰かに話す）を選んだ人は、誰に話をしますか。(小学生・中学生)



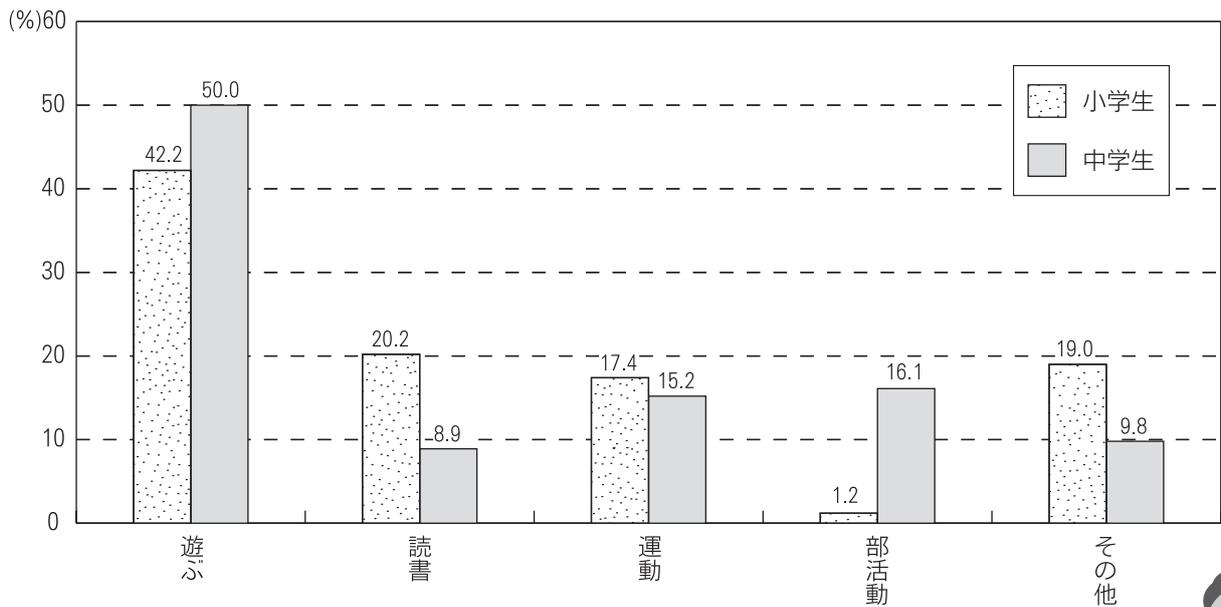
困ったことや悩みごとについては、小学生・中学生ともに「家族」よりも「友達」に相談することが多いことがわかります。



子どもたちが困ったことや悩みごとを相談できることは大切です。相談相手の選択肢の一人となれるよう、教師は子どもとのつながりを深めていく必要があります。



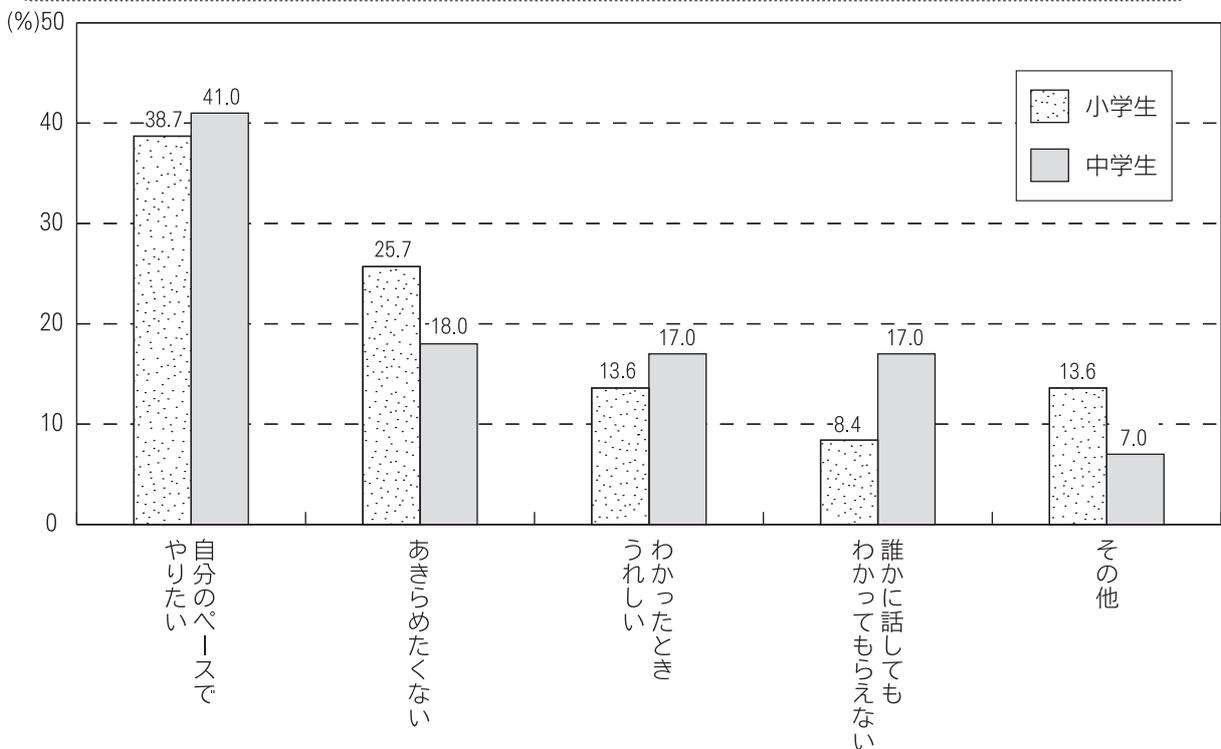
◆ イ（他のことでまぎらわせる）を選んだ人は、何をして不安を解消していますか。（小学生・中学生）



小学生・中学生ともに遊んで不安や悩みを解消している子が多いようです。また、中学生では、運動をしたり、部活動をしたりすることで不安や悩みを解消している子も多いようです。

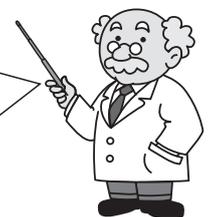


◆ ウ（一人で考える）を選んだ人は、一人で考える理由は何ですか。（小学生・中学生）

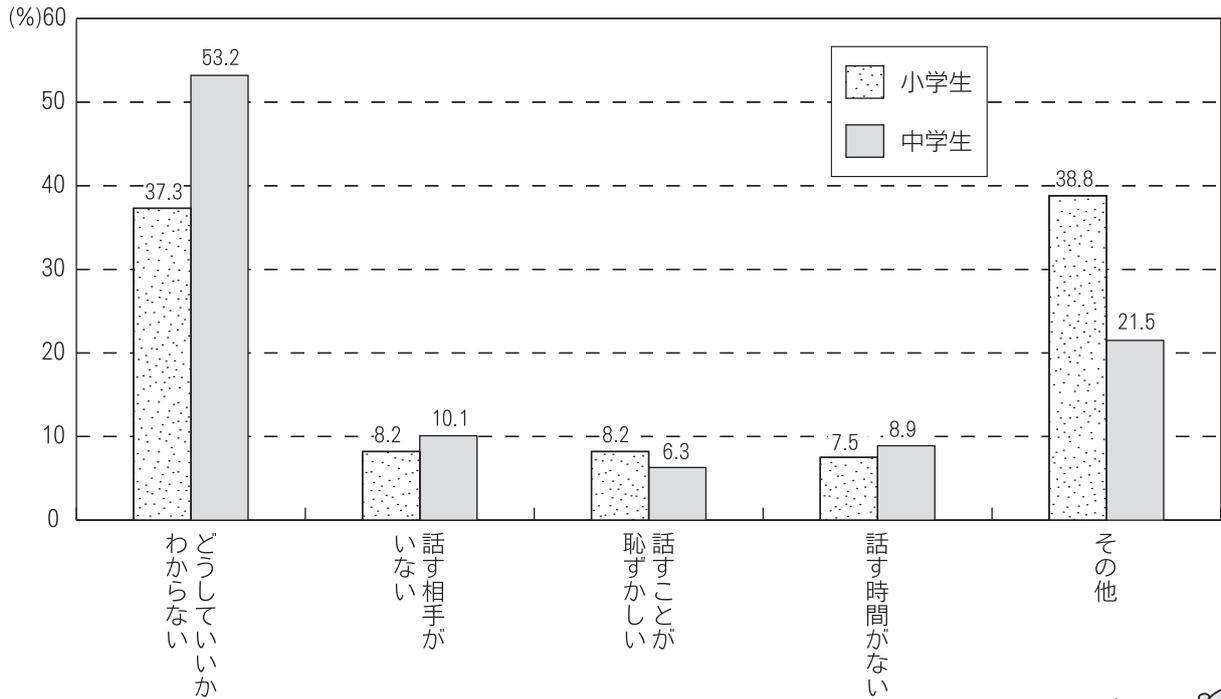


授業の悩みであるならば、スモールステップを用意し、一人でも主体的に学べる機会をつくるのが大切です。同時に、他者の考えが自分の新しい理解につながることに気付かせる対話的な学びの指導も大切だと考えられます。

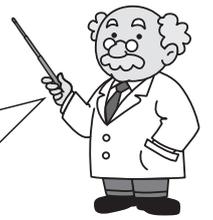
授業以外の悩みであるならば、セルフカウンセリング、セルフコーチング等、自分で悩みを解決する方法を学ぶ機会をつくることもこれからの学校では必要になると思います。



◆ エ（何もしない）を選んだ人は、何もしない理由は何ですか。（小学生・中学生）



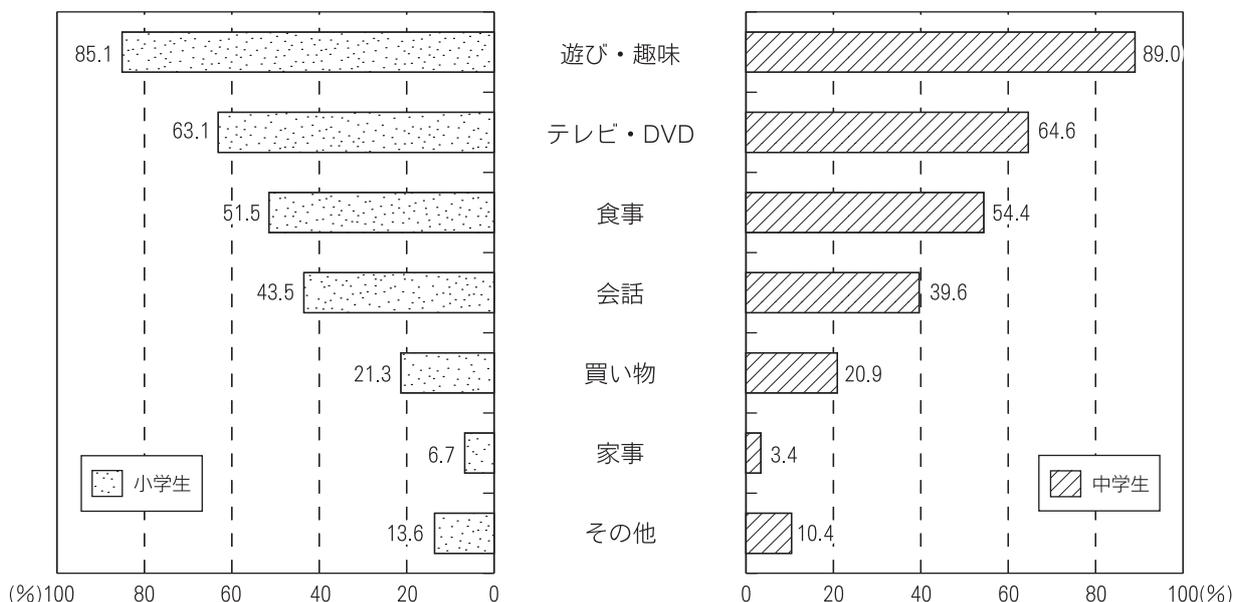
不安や悩みがあったとき、「どうしていいかわからない」子どもが多いことから、学校では悩みアンケートや面談などを定期的に行い、子どもたちが安心して悩みを打ち明けられる環境づくりや人間関係づくりが大切ですね。また、授業中や休み時間にわからないことを質問しやすい雰囲気づくりや関係づくりが大切となりますね。



## Ⅱ 家庭生活の中で

### ① 家庭生活での安らぎ

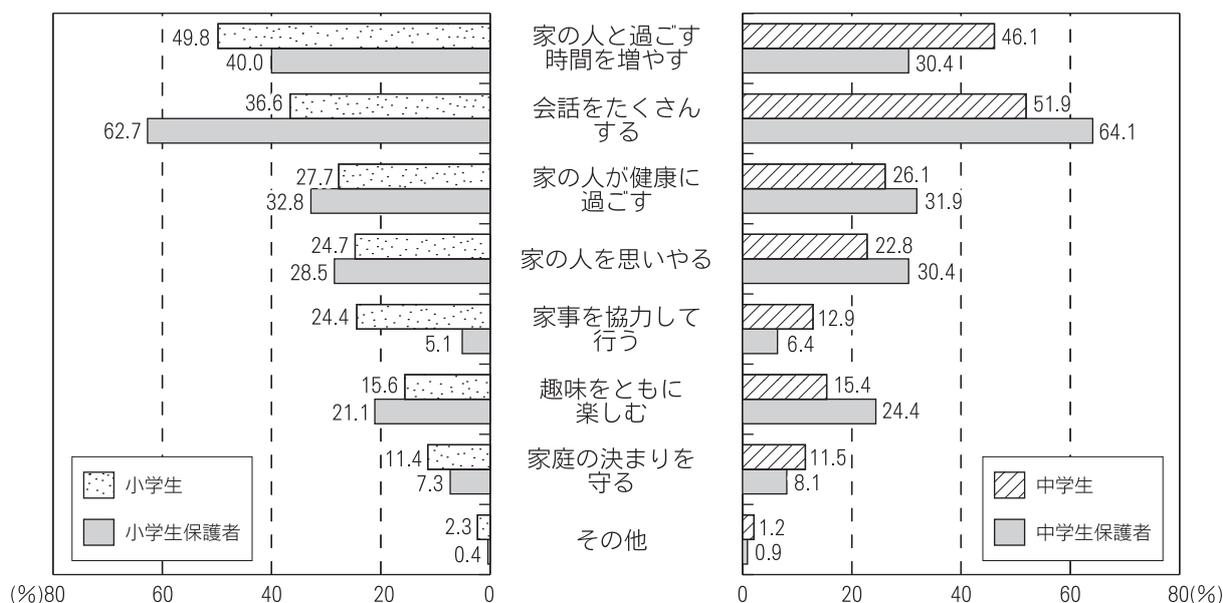
◆ 家で過ごすとき、どんな場面で安心・安らぎを感じますか。(小学生・中学生 複数回答)



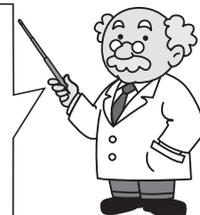
小学生・中学生ともに「遊び・趣味」、「テレビ・DVD」など、自分の時間をもつことで、安心・安らぎを感じる割合が高くなっています。



◆ 家の人みんなが笑顔で過ごすために、どんなことが大切だと思いますか。(小学生・中学生・保護者 複数回答)

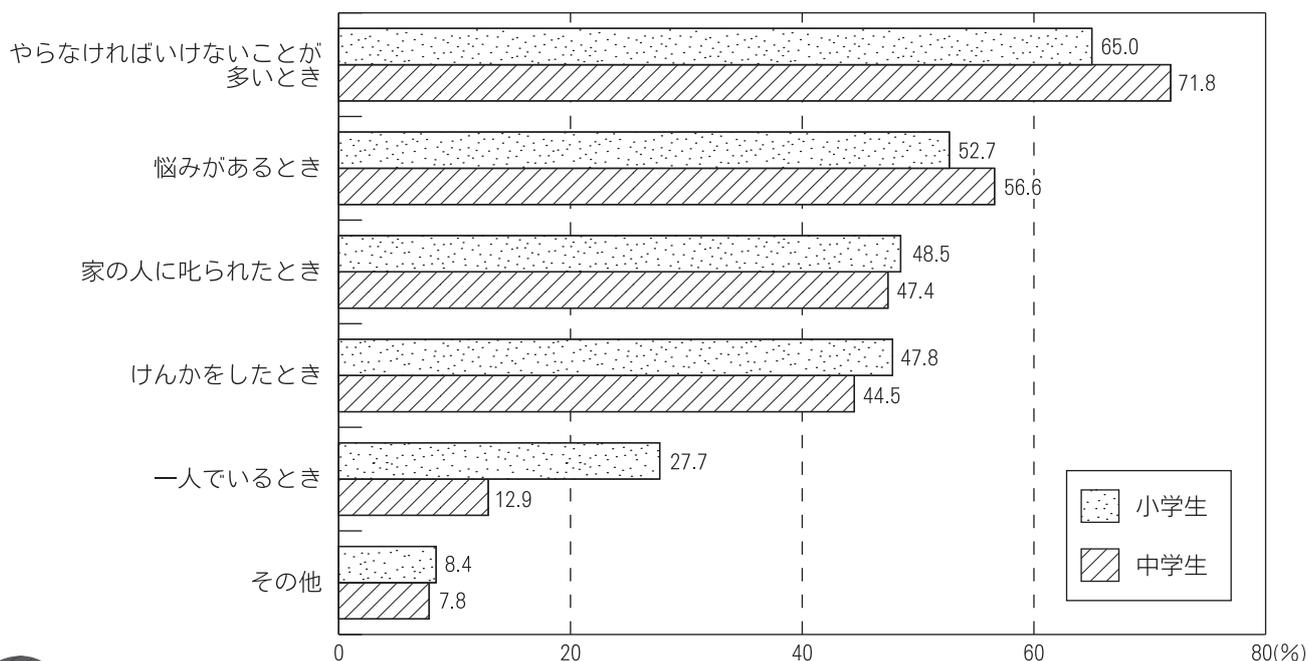


小学生・中学生の多くは、「家の人と過ごす時間を増やす」の割合が高く、時間を共有することを大切にしていることがわかります。一方、保護者は、「会話をたくさんする」の割合が高くなっており、ただ一緒に過ごすだけではなく、会話により意思疎通を図ることが、大切であると考えているようです。大人になるにつれ、会話の重要性をより認識するようになるのですね。



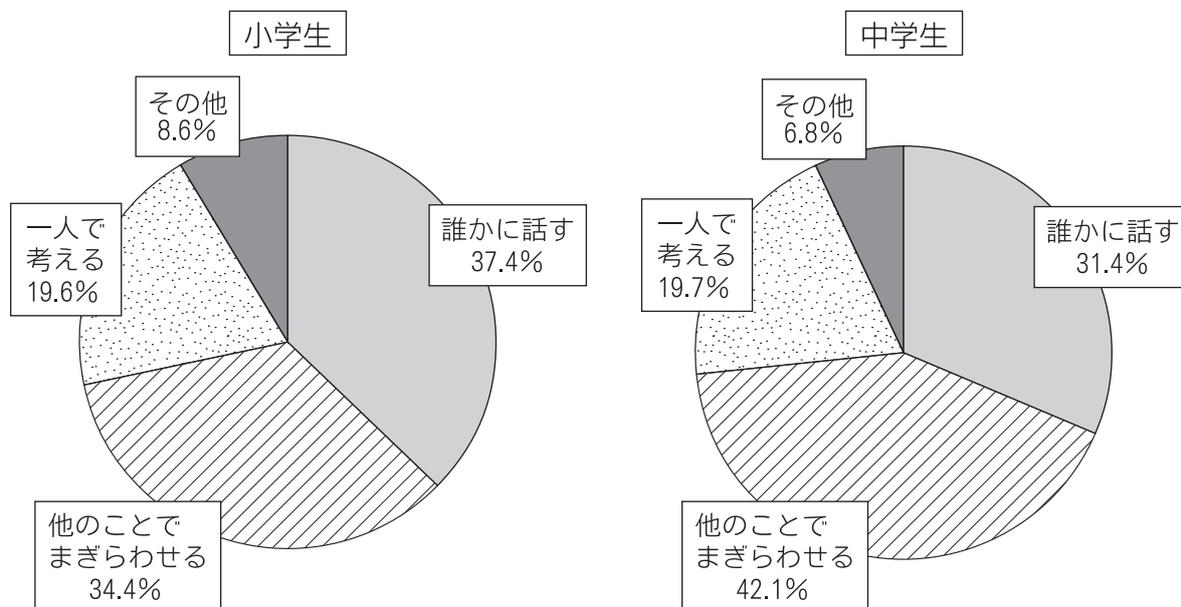
## ② 家庭生活での不安

◆ 家で過ごすとき、不安を感じるのはどんなときですか。(小学生・中学生 複数回答)



小学生・中学生ともに「やらなければいけないことが多いとき」や「悩みがあるとき」に不安を感じる割合が高くなっています。また、小学生は中学生に比べて、「一人にいるとき」に不安を感じる子どもが多いことがわかります。

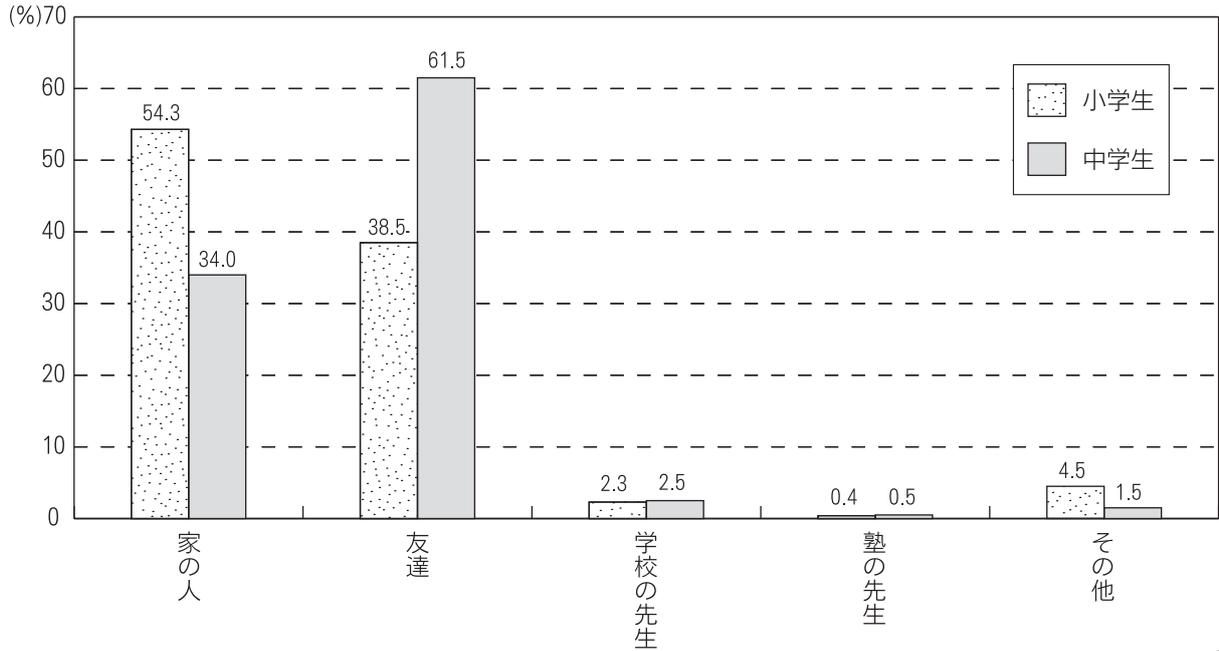
◆ 家での悩みや不安を解消したいとき、どのような行動をとりますか。(小学生・中学生)



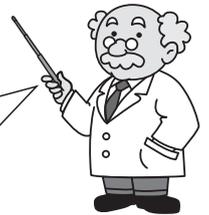
小学生が「誰かに話す」割合が高くなっているのに対し、中学生は、「他のことでまぎらわせる」割合と「一人で考える」割合の合計が6割を超えています。一人で解決できることも大切ですが、うまく処理できず問題を抱え込むことがないように、家の人々が子どもの気持ちを理解し、悩んでいるときに声をかけたり、話しやすい雰囲気をつくったりすることが大切です。



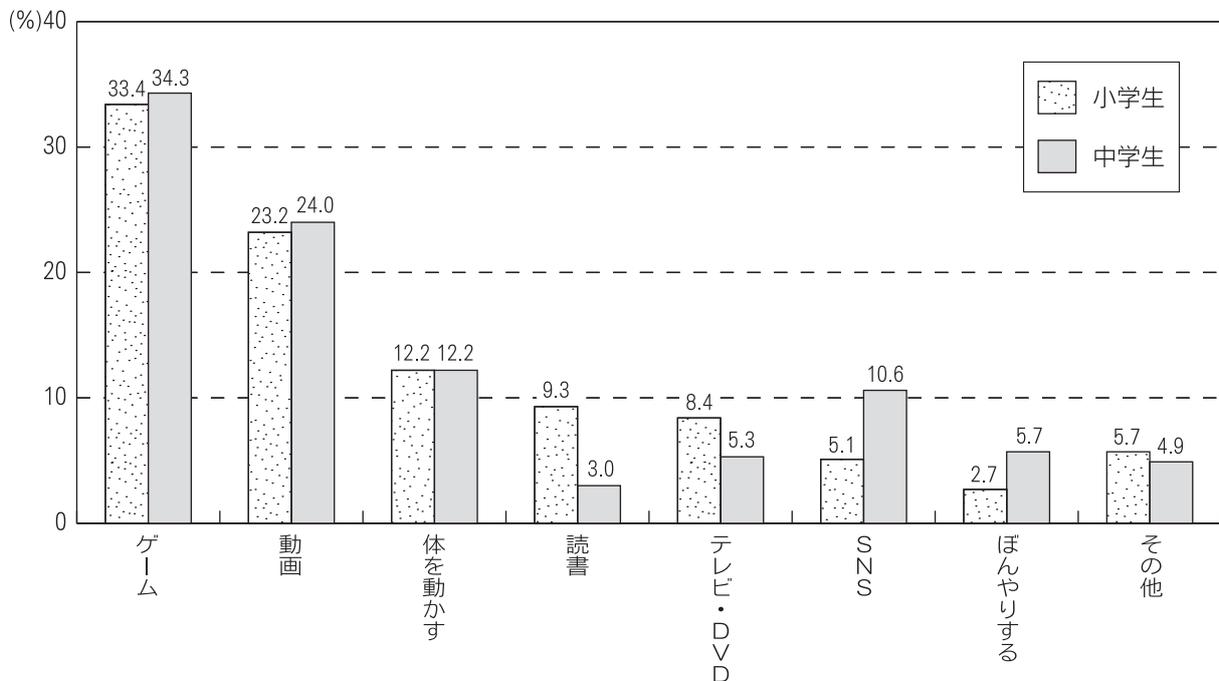
◆ ア（誰かに話す）を選んだ人は、誰に話をしますか。（小学生・中学生）



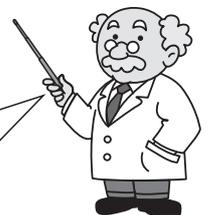
困ったことや悩みごとについては、小学生・中学生ともに「家人」や「友達」に相談することが多く、とりわけ中学生では「家人」よりも「友達」に相談することが多いことがわかります。家人は、子どもたちが困ったことや悩みごとを相談しやすいように、子どもとのつながりを深めていけるといいですね。



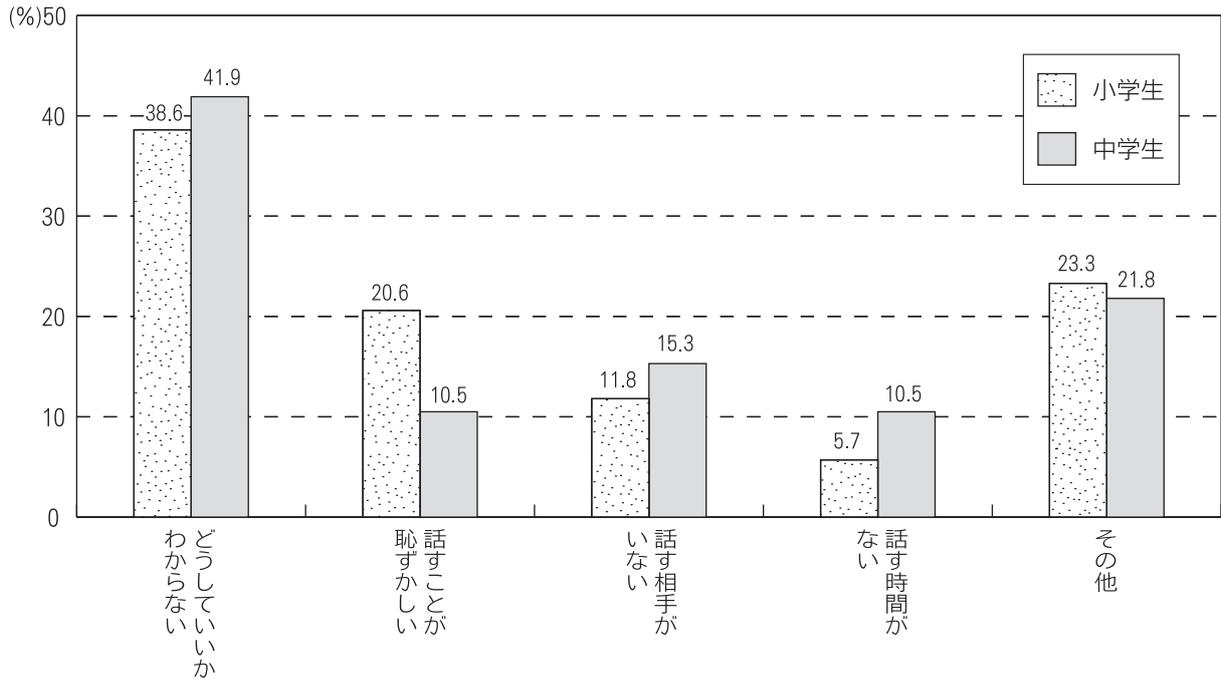
◆ イ（他のことでまぎらわせる）を選んだ人は、何をして不安をまぎらわせますか。（小学生・中学生）



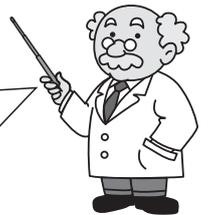
小学生・中学生ともに「ゲーム」や「動画」と回答した割合が多いようです。ゲームをしたり、動画を見たりして楽しんでいるように見える子どもの中には、何らかの不安を抱えている子どももいるようです。子どもの気持ちを家人が気づいてあげることも大切なのではないでしょうか。



◆ ウ（一人で考える）を選んだ人は、一人で考える理由は何ですか。（小学生・中学生）



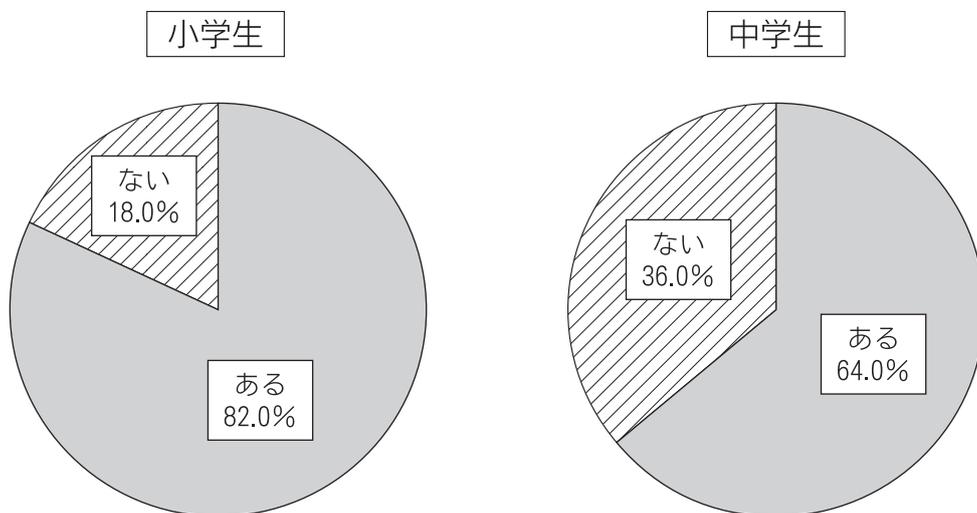
家での悩みや不安を解消したいとき、一人で考えているように見えても「どうしていいかわからない」子どもの中にはいるかもしれません。子どもたちのそうした気持ちを家の人理解し、一人で問題を抱え込みすぎることがないように、悩んでいるときに声をかけたり、話しやすい雰囲気や人間関係をつくったりすることが大切ではないでしょうか。



### Ⅲ 輝く明日に向かって

#### ① 将来の夢について

◆ あなたには、将来の夢がありますか。(小学生・中学生)



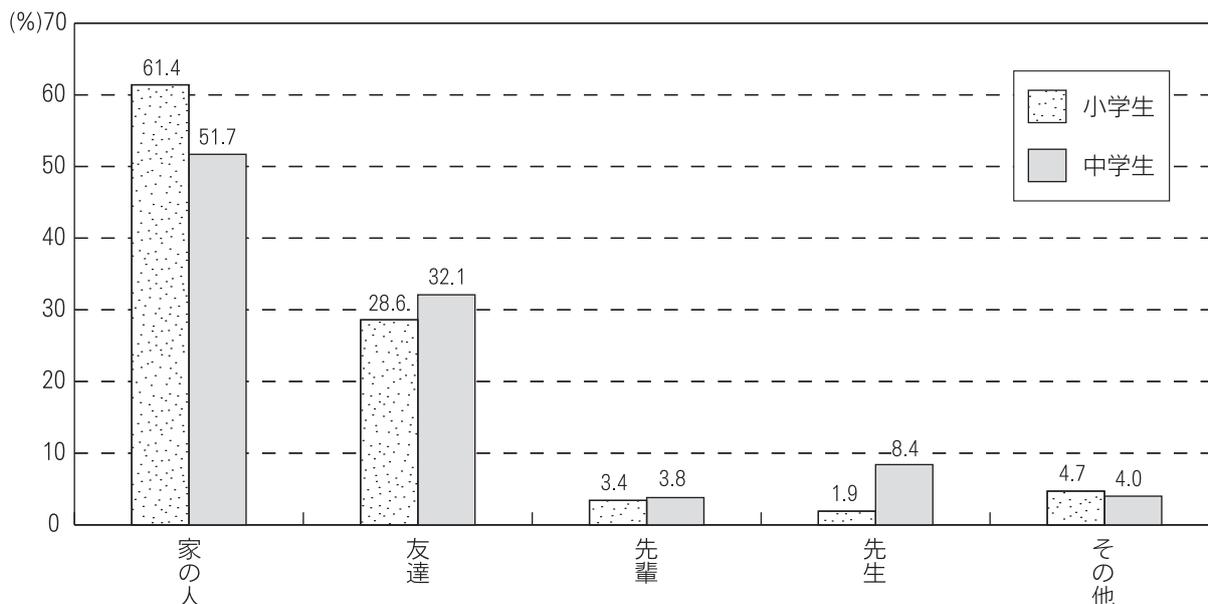
小学生のころは約80%が「将来の夢がある」と答えています。しかし、中学生になると、「ある」という答えの割合が減っています。



中学生になると、物事を現実的に受け止めるようになるため、夢や目標を見失うことがあります。子どもの夢や目標を、ときには新たな目指すべきものを大切に育てあげたいですね。



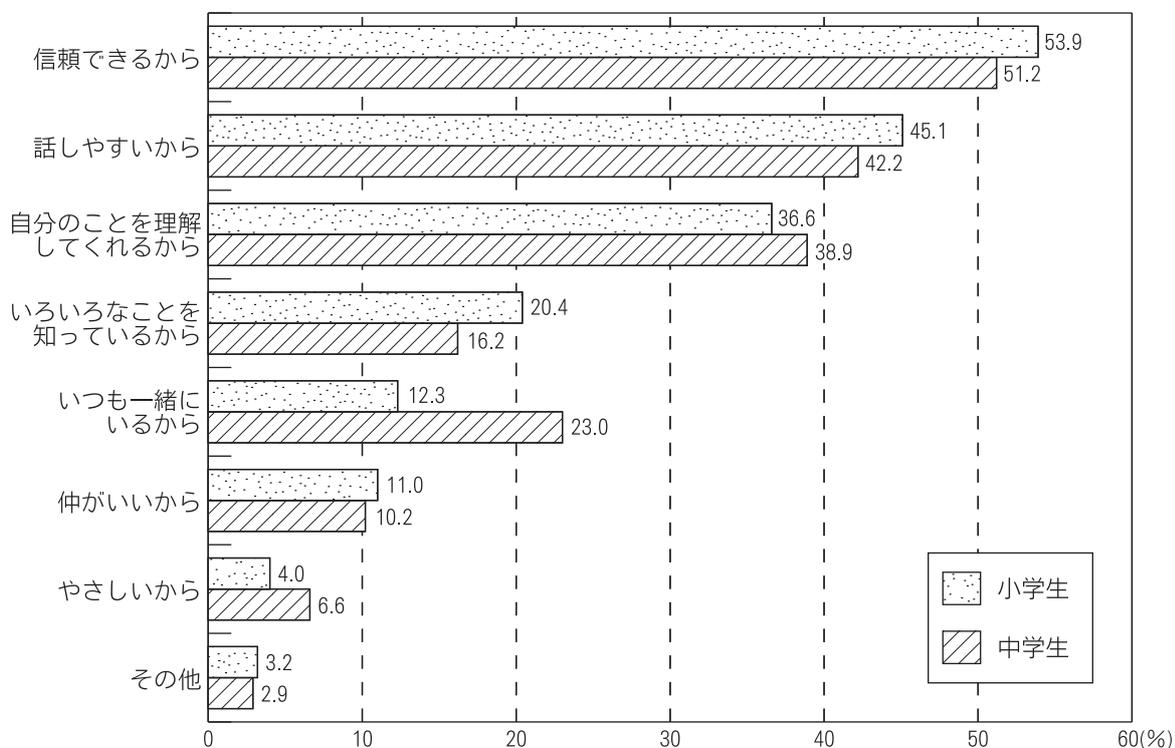
◆ 将来に不安を感じたとき、誰に相談したいですか。(小学生・中学生)



多くの子どもが学校の悩みを「友達」に相談したいのに対し、将来への不安については、小学生・中学生ともに、「家の人」に相談したい子どもが多いです。中学生になると、「先生」に相談する割合は増えますが、高いとは言えない状況です。



◆ なぜ、その人に相談したいですか。(小学生・中学生 複数回答)

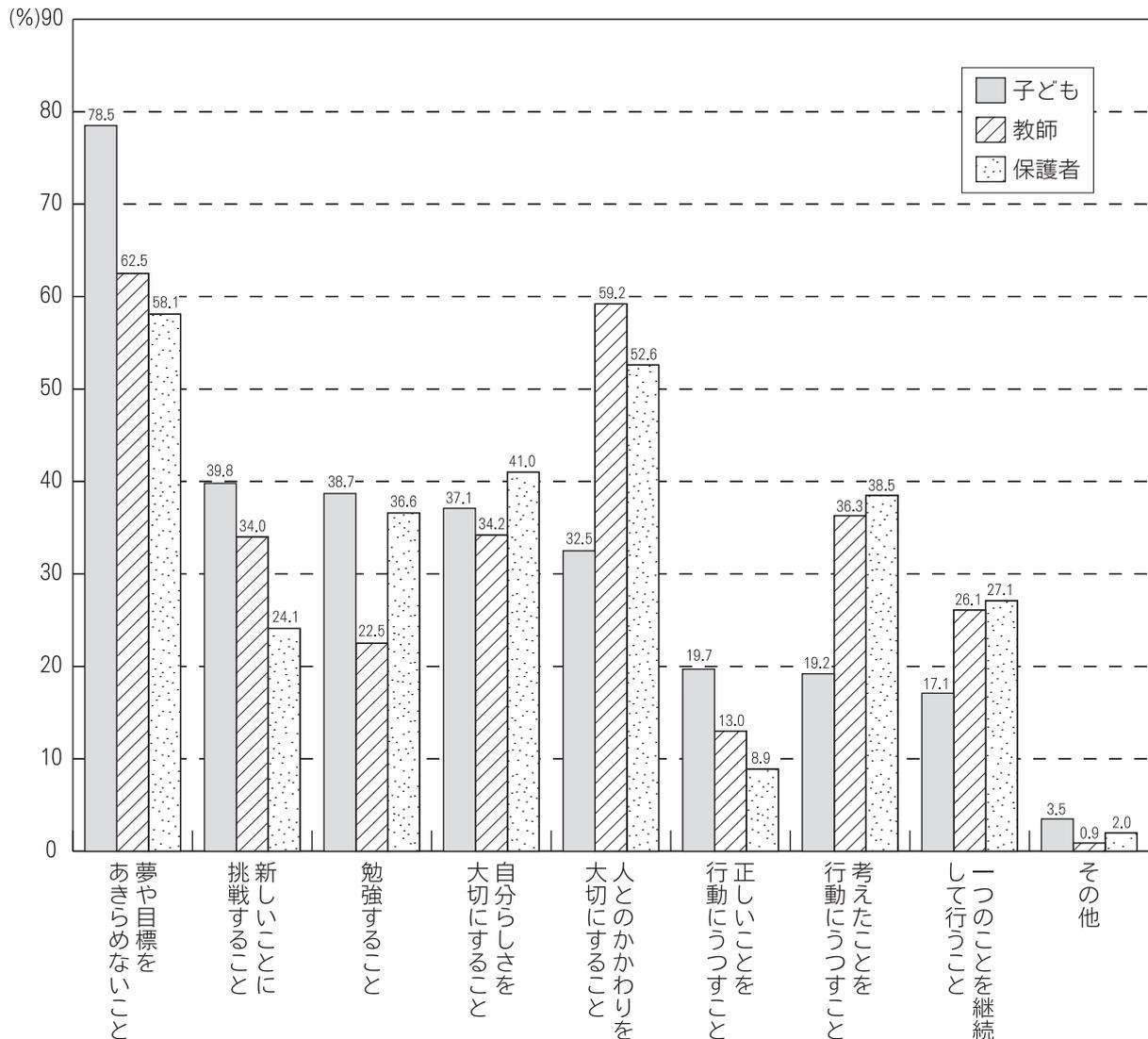


小学生も中学生も「信頼できる」人を相談相手に選んでいます。また、「話しやすい」「自分のことを理解してくれる」という理由も多いことから、自分のことを受け入れてくれる、身近な人を選ぶ傾向があるようです。一緒に過ごす時間を増やし、子どもの話に耳を傾ける機会を増やすことが大切です。



## ② 将来に向かって

- ◆ 将来の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。(小学生・中学生 複数回答)
- ◆ 児童・生徒が、将来の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。  
(小学校教師・中学校教師 複数回答)
- ◆ 子どもが、将来の夢をかなえるために必要なことは何だと思いますか。  
(小学生保護者・中学生保護者 複数回答)



夢をかなえるために一番必要なこととして、子ども・教師・保護者の三者が「あきらめないこと」をあげています。どんな困難にぶつかっても、継続する意欲を持つことが、夢をかなえる近道と考えているようです。

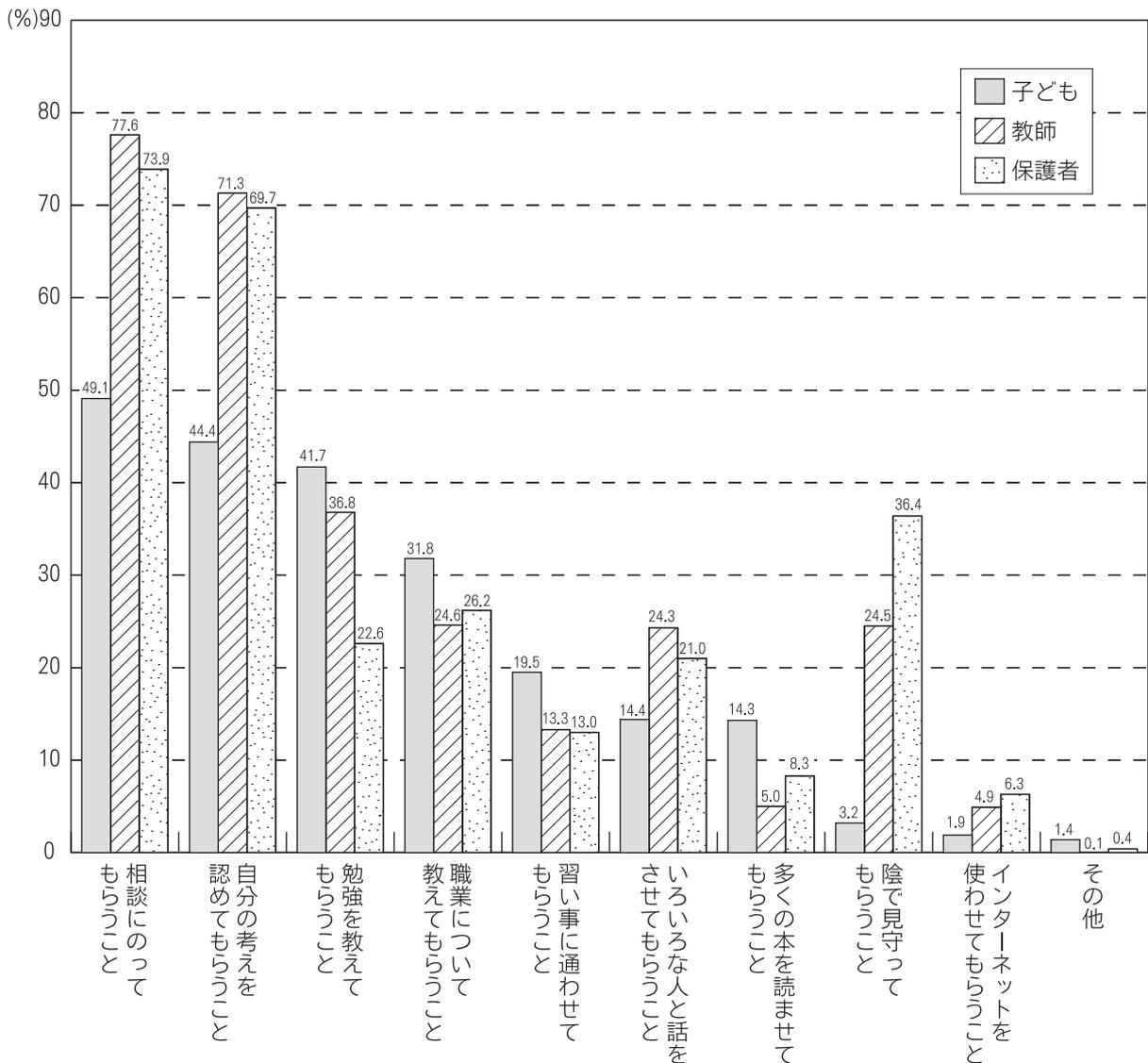
教師・保護者は、「人とのかわりを大切にすること」の割合が高い一方で、子どもは、「新しいことに挑戦すること」や「勉強すること」の割合が高くなっています。



大人が経験的に知り得た「人とのかわり」や「考えたことを行動にうつす」「一つのことを継続すること」を、大人ほど子どもは重要視していません。これらのことの重要性を子どもにどのように伝えるかが今後の課題ですね。



- ◆将来の夢をかなえるために学校や家の人に何を望みますか。(小学生・中学生 複数回答)
- ◆児童・生徒が、将来の夢をかなえるために学校や家の人に何を望んでいると思いますか。(小学校教師・中学校教師 複数回答)
- ◆子どもが、将来の夢をかなえるために学校や家の人に何を望んでいると思いますか。(小学生保護者・中学生保護者 複数回答)



夢をかなえるために学校や家の人に望むこととして、子ども・教師・保護者の三者が「相談にのってもらうこと」と「自分の考えを認めてもらうこと」を多くあげています。また、教師・保護者は、「陰で見守ってもらうこと」の割合が高く、子どもは、「勉強を教えること」や「職業について教えてもらうこと」の割合が高くなっています。



大人は、陰で見守るだけでなく、子どもたちが求める情報を与えることも必要です。そのためには、いつでも相談にのってあげられるための関係づくりも欠かせませんね。



## あ と が き

一宮の教育白書「明日を生きる子どもたちのために」は、学校や家庭生活における子どもたちの意識や実態、保護者、教師の意識を明らかにすることを目的として編集されてきました。

現在、学校では不登校やいじめについての問題、特別な支援や日本語教育を必要とする児童生徒がたくさんいるという問題があります。家庭ではスマートフォンやタブレットなどの普及に伴い、インターネットを利用する際に生じる問題が急増しています。

こうした現状から、子どもたちが「安心」して通える学校とはどのような環境か、また、子どもたちが「安心」して暮らせる家庭とはどのような環境かを調査することで、子どもたちが学校や家庭に望む「安心・安らぎ」を理解できるのではないかと考え、アンケート調査・分析した結果をまとめました。

今後も私たち教師は、保護者とより一層の共通理解を図りながら、教育活動をすすめていく必要があります。子どもたちの心の内を知り、問題解決に向けた取り組みの糸口として、少しでも役立つことを願っています。

なお、この冊子を作成するにあたって、保護者ならびに児童・生徒の皆様、先生方にはアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。編集委員一同、心よりお礼申し上げます。

2020年11月

一宮市教職員組合 教財部長  
岩 田 光 功

### 「2020年度 明日を生きる子どもたちのために」編集委員

馬場 浩毅 (西成小)	村端 昭紀 (葉栗中)
奥田 薫 (丹陽南小)	日下部 加奈 (西成中)
菅原 睦弥 (浅井北小)	柴山 敬二郎 (浅井中)
鈴木 雅奈 (大和西小)	梶浦 文生 (今伊勢中)
岩田 光功 (西成中)	小垂 祐介 (尾西第一中)

<表紙絵によせて>

子どもたちの笑顔が、  
今も、これからも  
続くことを願って…

表紙デザイン 原 邦 恭（木曾川中）

2020年度 明日を生きる子どもたちのために  
編集発行 一宮市小中学校PTA連絡協議会  
一宮市教職員組合  
印刷所 (有)メディアポート  
2020年11月印刷  
2020年11月発行